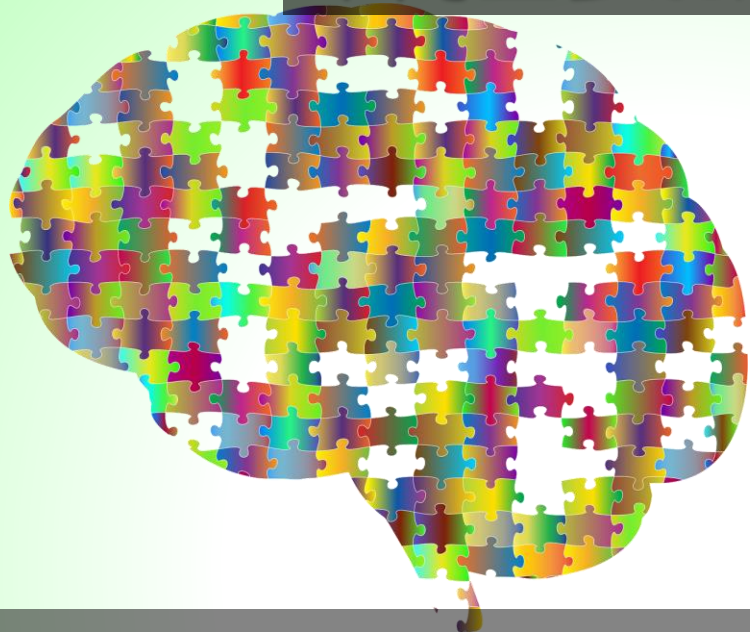


# The International Brain Bee

## 第10回脳科学オリンピック日本大会予選

脳科学クイズを勝ち抜き、世界大会を目指そう！

### 中高生参加大募集！



今年の予選大会はコロナ禍のため、コンピュータ上で行うCBT試験として実施します

世界大会（8月上旬）も、オンライン開催となります

詳細（申込み・教材等）はWEBで！（裏面も参照！）

日時：2023年4月1日（土）～4月16日（日）

申込みサイトで各会場の空き状況を確認の上、都合のよい日時・会場を選んで受験してください。期間中1回だけ受験できます  
事前申し込みが必要です。試験は1時間

申込み〆切は、実際の受験日3日前（最終は4月13日）まで

会場：申し込みサイトで確認できる全国47都道府県、200カ所以上の実施会場・施設の中から選択して登録してください。

（会場は専用の試験会場の他、各地の提携するパソコン教室などです。会場は他の試験等にも使われていますので、余裕をみて早めに申し込んでください。）

対象： 中・高校生 参加費：1100円（税込み：コンビニ決済）

\* 予選を通過した上位入賞者によるファイナル試験を別途対面で5月に実施（できるだけ入賞者の近隣の大学で実施します。入賞すると、以後の費用は一切かかりません。詳細は入賞者に4月末日までに直接お知らせします）

主催/共催：日本脳科学関連学会連合（脳科連）  
NPO脳の世紀推進会議  
日本神経科学学会

お問い合わせ先：奥村 哲（玉川大学脳科学研究所）  
ブレインビー日本ナショナルコーディネーター  
e-mail: tetsuok-tmdu@umin.ac.jp

申込みサイト



脳科連HP



## 脳科学オリンピック（ブレインビー）とは、

中・高校生による、脳科学、神経科学、神経疾患等に関する知識を競う世界大会で、世界50か国以上に国別組織が存在します。日本代表に選抜された1名は、8月に行われる世界大会（本年はオンライン開催）に招待されます。4月のCBT（コンピュータを活用したネットテスト）は日本大会の予選会に相当します。上位（数名）に入賞すると、予選通過者として神経科学に関連する学会の見学や、ラボ見学、勉強会などに参加できます（今回はオンラインもしくは縮小開催となります）。上位入賞者（予選通過者数名）を集めた日本代表選抜大会（最終試験）は、入賞者がいる都道府県（あるいは近県）の会場（2～3カ所）において、5月頃に同時に対面（ペーパー試験）形式で開催されます。

## どんな問題がでるの？

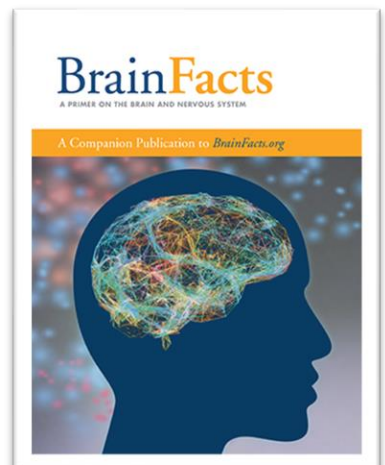
ほとんどの問題はBrain Facts Book（BFB）という英語の教科書（PDFで無料頒布）の内容から出題します。当日の出題も英語です。

BFBの理解を助けるために、BFBの日本語訳も用意しました。どちらも申込みサイトからダウンロード可能です。

例題1 **Visual information coming from one eye is processed exclusively in the contralateral visual cortex. Is this explanation true or false? False**

例題2 **Name an abbreviation of the most commonly used inhibitory amino acid neurotransmitter. GABA**

例題3 **What is the name of the fiber-like extension of a neuron by which it sends information to target cells? axon**



## 例年の世界大会（The International Brain Bee）のようす

例年は以下の5セッション（各2時間程度）が行われます。

- ◎第1セッション... 1問1答式の知識テスト
- ◎第2セッション... ヒトの脳標本を用いた肉眼脳解剖学テスト
- ◎第3セッション... 顕微鏡写真を用いた組織学セッション
- ◎第4セッション... 架空の患者の病歴などを再現した資料や、模擬患者との対話を通して神経内科学的診断などを行う試験
- ◎第5セッション... 公開の会場で行う1問1答式のテスト

セッション以外の時間は、国際学会などに参加し研究者と議論が行われます（今回はオンライン）。また神経科学に対する興味を共有する各国の高校生同士の交流が盛り上がりします。

本年はコロナ禍のため、規模を縮小したオンライン開催となります。そのため実施形態も変更されず（8月に予定）



過去の世界大会の様子（集合写真（左）と本物の脳標本を用いたマクロ解剖セッション（右））

